電気専門用語集　No. xx

電気学会　電気規格調査会

用語集名称

電 気 学 会

○使用する用語の出典

ヘッダはセクションごと奇数偶数ページごとに設定　このコメントは提出時削除

学術用語集　電気工学編（増訂2版），1991年

○制定 及び改正

（制定 及び改正年月日）　（規格番号及び規格名）

制定　19xx年x月xx日 電気専門用語集 No. xx　用語集名称

改正　20xx年x月xx日 電気専門用語集 No. xx　用語集名称

目　次

目次の頁　このコメントは提出時削除

ページ

序文 1

1 適用範囲 1

2 引用規格 1

3 用語及び定義 1

 1.00　一般 2

 2.00　応動 8

 3.00　応動値 14

 4.00　応動の評価・特性 18

 5.00　構造・構成 24

 6.00　応動機構 28

 7.00　入力回路 及び入力量 30

 8.00　接点 及び出力 32

 9.00　保守・試験 36

 10.00　保護 38

 11.00　リレー方式（継電方式） 44

 12.00　再閉路 48

 13.00　リレー（継電器） 52

 14.00　ディジタルリレー関連 66

附属書A(参考) 　説明図 70

附属書B(参考) 　日本語索引（五十音順） 75

附属書C(参考) 　英語索引（ABC順） 82

解説 89

まえがき

この電気専門用語集 No.xx 「用語集名称」編は，○○○○電気専門用語標準特別委員会において20xx年xx月に改正作業に着手し，慎重審議の結果，20xx年x月に成案を得て，20xx年xx月xx日電気規格調査会 規格役員会の承認を経て制定した，電気学会　電気専門用語集である。

以下　定型文　このコメントは提出時削除

この電気専門用語集は，一般社団法人電気学会の著作物であり，著作権法の保護対象である。

この電気専門用語集の一部が，特許権・商標権などの工業所有権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。一般社団法人電気学会は，このような工業所有権にかかわる確認について，責任をもたない。

この規格と関係法令に矛盾がある場合には，関係法令の遵守が優先される。

電気専門用語集の選定方針

以下　定型文　このコメントは提出時削除

1 用語選定の基本方針と選定方法

1.1 基本方針

専門用語集は，論文執筆に必要な専門用語，及び日常業務などに使用される専門用語を主体に収録する。

用語を必要とする概念の選定に当たっては，電気工学の各専門分野における術語の用法を整理し，その分野の進歩発展に寄与するように努める。

1.2 選定方法 及び刊行

(1) 下記いずれかの方法で作られた原案を電気専門用語標準化委員会で審議，決定する。

 (a)必要と思われる部門につき，電気専門用語標準化委員会の下に標準特別委員会を構成して作られ提出された用語集案。

 (b)電気専門用語標準化委員会が，必要と思われる部門につき，各種委員会，関連学会，協会と協議し，これらの組織に委託して作られ提出された用語集案。

 (c)電気学会内の各種委員会で作成された用語集案， 若しくは関係の深い分野の学会，協会で作成された用語集案のうち，専門用語集として発表を希望するもの。

(2) 審議完了分から部門ごとに随時刊行する。

(3) 専門用語集は，刊行後原則として５年ごとに原案作成委員会 又は関連委員会で見直しを行い，必要に応じて増補，改正，削除などの修正を加える。

2 専門用語原案作成上の注意

2.1 用語集の構成

(1) 各用語は，ひらがな，カタカナで読み方を明確にする。

(2) 用語に対応する英語を付ける。英語は，IEVの定義等を参考に，国際的に通用する英語を用いる。

(3) 各用語には定義を付ける。定義が難しいものは，その意味するところを備考欄に説明するのみでもよい。

(4) 必要に応じ，備考欄に用語及び定義に関する補足説明を記入してよい。備考欄で関連用語を定義することは原則として行わないが，関連用語を独立した用語として収録すると煩雑になる場合は備考欄で定義することも例外的にありうる。なお，改正毎の変化，定義の変更理由，関連用語との関連 などは，「解説」に記載しても良い。

(5) 各用語を適切な体系に従って分類し，適宜の項目に分けて配列する。

2.2 用語選定上の注意

(1) 一つの概念に対しては，一つの用語をあてはめることが望ましい。

(2) 一つの用語が同一専門分野で二つ以上の意味に使用されることは好ましくない。

(3) 同音異義の用語（特に漢語）は好ましくない。

(4) 用語の解釈が統一されていないものは，努めて収録してその概念を明確にする。

(5) 用語は，平易簡明で理解しやすく，かつ語感のよいものを選ぶ。

(6) 他の専門用語に属する用語で，その方面で選定済みのものは，それを尊重する。

(7) 正しい国語を尊重することは当然であるが，広く使用される慣用語は，はなはだしく不合理なものでない限り，用語として採用してよい。外国語ですでに慣用されているもの，国際的に使用されているもの，又は適当な語訳がないものは，これをカタカナ書きの用語として採用してもよい。

(8) 略語，略称であっても，慣用語となっているものは，採用してよいが，極端に符号化し，用語として不適当なものは，採用することを避け，必要に応じて備考欄に記載する。

例言

以下　定型文　このコメントは提出時削除

1. 用語の分類及び配列

用語は専門分野ごとに分類し，適宜の項目に分けて配列した。各用語には項目番号と項目ごとの通し番号を付けた。

2. 版の組み方

第一列に用語の番号，第二列に用語，第三列に用語の読み方，第四列に用語に対応する英語，第五列に用語の定義，第六列に参考事項を記した。

3. 索引

用語を五十音順，英語をABC順に配列した索引を付けた。索引に付けた数字は用語の番号を示す。

4. その他

かっこ，その他の記号の用い方は次による。

（イ）『』内は説明又は注記を示す。

（ロ）〔〕内は省略してもよいものを示す。

（ハ）《》内はその前にある語と適宜に置き換えてよいものを示す。

（ニ）　○印を付けた用語は学術用語集「電気工学編（増訂版）」に採録されているものを示す。

（ホ）（）内は用語・読み方・英語の各欄では用語の別称を示す。

（ヘ）【】内は英語欄において，参考とした規格などの用語の番号を示す。

ページ合わせ偶数ページで終わる　このコメントは提出時削除

用語集名称

Protection Equipment　英文名称

序文

この電気専門用語集は，電気に関する学術・技術の論文，図書，規格，カタログなどの文書，講演，会議などにおいて，情報，思考， 若しくは意志の正確で迅速な伝達を図るために，電気工学の専門分野ごとに適当な部門を選び，そこでの専門用語を標準化し，一義的な定義を与えることを目的として作成された用語集である。

工学の進歩に即応するため，専門用語集は速やかに発行することを目標として制定され，５年ごとに見直され，必要に応じて修正される。

# 適用範囲

この電気専門用語集は，用語集名称に適用する。

# 引用規格

この電気専門用語集には引用規格はない。

# 用語及び定義

この電気専門用語集で定めた用語は次に示すとおりである。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| 　1.00 一般 |
| 1.01見開きでA4横の表とするこのセクションは下マージン・フッターを変更している各ページ最後に「改ページ」を挿入しておくと，校正作業がやりやすい　このコメントは提出時削除 | 保護『電力系統 又は電力設備の』 | ほご | protection【IEV 448-11-01】 |
| 1.02 | 保護〔リレー〕方式（〔保護〕継電方式○） | ほご〔りれー〕ほうしき（〔ほご〕けいでんほうしき） | protection 《protective》relaying scheme,（protection 《protective》scheme） |
| 1.03 | 保護〔リレー〕システム（〔保護〕継電システム） | ほご〔りれー〕しすてむ（〔ほご〕けいでんしすてむ） | protection system【IEV 448-11-04】 |
| 1.04 | 保護〔リレー〕装置（〔保護〕継電装置） | ほご〔りれー〕そうち（〔ほご〕けいでんそうち） | protection equipment【IEV 448-11-03】 |
| 1.04.1 | 事故除去リレー装置 | じこじょきょりれーそうち | fault clearance protection equipment |
| 1.04.2 | 事故波及防止リレーシステム | じこはきゅうぼうしりれーしすてむ | system integrity protection scheme (SIPS),special protection scheme (SPS) |
| 1.05 | リレー《継電器○》　　　　　　 | りれー《けいでんき》 | electrical relay,【IEV 447-01-01】measuring relay,【IEV 447-01-02】protection relay【IEV 447-01-14】 |

|  |  |
| --- | --- |
| 定義 | 備考 |
| 　1.00 一般 |
| 電力系統 又は電力設備などに短絡・地絡などの異常状態が発生した場合，被害の軽減をはかりその波及を防止することを目的として(1)正常部分と異常部分とを分離し，正常部分が異常部分の影響を受けないようにする．(2)異常部分の運転を停止させる．(3)異常運転を正常に回復させる．などの行為． | 見開きでA4横の表（ラインを合わせる）とするライン合わせを文字行数で行う場合は，改行記号の前に全角スペースを入れるとよい。（ラインのずれの確認は印刷モードで行うこと）　このコメントは提出時削除 |
| 保護リレーなどを用いて，電力系統 又は電力設備などに発生した短絡・地絡などの異常状態を検出して，所定の保護を行うように考えられた方式． |  |
| 電力系統 又は電力設備などに発生した短絡・地絡などの異常状態を検出して所定の保護を行うよう構成されたシステム． | 保護リレー装置のほか，保護に必要な計器用変成器・トリップ回路・補助電源・信号伝送装置なども含まれる． |
| 保護リレー・補助リレー 若しくは論理回路などの組み合わせによって，電力系統 又は電力設備などに発生した短絡・地絡などの異常状態を検出して所定の機能をもって，保護動作を指令する装置． |  |
| 電力系統 又は電力設備の短絡事故・地絡事故などの異常状態を検出して，異常部分を除去することを目的とする保護リレー装置． |  |
| 周波数異常・系統脱調・電圧異常などの電力系統の安定運転を阻害する異常現象が広範囲に波及するのを防止することを目的とする保護リレーシステム． |  |
| つぎの条件を満たす装置(1)あらかじめ規定した電気・圧力・温度などの物理量に応動する．(2)出力回路に接点の開閉，電気出力の有無などの急激な変化を与える機能をもつ．(3)制御回路 又は信号回路に用いられる． |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| 1.05.1 | 主〔検出〕リレー《主継電器》　　　 | しゅ〔けんしゅつ〕りれー《しゅけいでんき》 | primary protection |
| 1.05.2 | 事故検出リレー《事故検出継電器○》 | じこけんしゅつりれー《じこけんしゅつけいでんき》 | fault detecting relay |
| 1.06 | 〔相間〕短絡〔事故〕 | 〔そうかん〕たんらく〔じこ〕 | phase fault,short-circuit fault |
| 1.07 | 地絡○〔事故〕 | ちらく〔じこ〕 | (phase-to-) earth fault,(single line to) ground fault (US) |
| 1.07.1 | 微地絡〔事故〕 | びちらく〔じこ〕 | earth fault with high fault resistance,ground fault with high fault resistance (US) |
| 1.08 | ターン間短絡〔事故〕（層間短絡〔事故〕） | たーんかんたんらく〔じこ〕（そうかんたんらく〔じこ〕） | turn to turn fault,interturn fault |
| 1.09 | 突入電流 | とつにゅうでんりゅう | inrush current【IEV 448-11-30】 |
| 1.10 | 定格○〔値〕 | ていかく〔ち〕 | rated value【IEV 447-03-11】 |
| 1.10.1 | 連続定格○ | れんぞくていかく | continuous rating |
| 1.10.2 | 短時間定格○ | たんじかんていかく | short-time rating |
| 1.11 | 負担○ | ふたん | burden |

|  |  |
| --- | --- |
| 定義 | 備考 |
| 事故種類と事故区間などを検出するリレー． | 事故検出リレーに対し，主〔検出〕リレーが用いられる．また，フェイルセーフリレーに対してメインリレーということがある．後備保護に対する主保護は10．01参照． |
| 信頼性向上のため，主リレーと組合せて用いるリレー．事故を検出するリレーで一般に主リレーよりも検出範囲が広い．単に事故を検出するリレーを指すこともある． | フェイルセーフリレーということがある． |
| 電力系統 又は電力設備などの異なった相の導電部分の間で絶縁が失われて，電流が流れる現象． |  |
| 電力系統 又は電力設備などの導電部分と大地の間で絶縁が失われて，電流が流れる現象． |  |
| 地絡の一種で，電力系統 又は電力設備などの導体部分と大地間に高抵抗物体を通じて，小さい電流が流れる現象． |  |
| 発電機・変圧器などの同一巻線内の異なった点の間の絶縁が失われて，電流が流れる現象． | 層間短絡〔事故〕は〔相間〕短絡〔事故〕と同音異義のためできるだけ使用しない． |
| 変圧器・ケーブル・リアクトル等に加圧したときに，一時的に発生する大電流． | 電力系統では変圧器の励磁による突入電流がある．またリレーシステムでは電源のコンデンサを充電するときに突入電流が流れることがある． |
| リレーの特性 及び性能の保証基準を表す数値．たとえば，定格電流・定格周波数などの値．ただし，電流回路では連続通電に耐える電流値を意味する． |  |
| 定格値が連続的に課せられても，その特性 及び性能が規定の限度をこえない定格． |  |
| リレーに定格値が連続的に課せられたとき，短時間に限りその特性 及び性能が規定の限度を維持できる定格． | この場合は一般にその限度時間を示す． |
| リレーで消費される皮相電力・〔有効〕電力などが入力源に及ぼす影響． |  |

| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.11.1 | 定格値負担 | ていかくちふたん | rated burden |
| 1.11.2 | 動作値負担 | どうさちふたん | burden at operating value |
| 1.12 | 保護範囲 | ほごはんい | zone of protection |
| 1.13 | 内部事故 | ないぶじこ | internal fault【IEV 448-13-03】 |
| 1.14 | 外部事故 | がいぶじこ | external fault【IEV 448-13-04】 |
| 1.15 | SIR（電源インピーダンス比) | えすあいあーる（でんげんいんぴーだんすひ） | System Impedance Ratio,Source Impedance Ratio(US) |
| 1.16 | 脱調 | だっちょう | loss of synchronism,out-of-step (US) |
| 1.17 | 単独運転 | たんどくうんてん | isolated operation,islanding |
| 1.18 | 負荷制限 | ふかせいげん | load shedding |
| 1.19 | 電源制限 | でんげんせいげん | generator tripping,generation rejection |
| 1.20 | 系統分離○ | けいとうぶんり | system separation,network splitting |
| 1.21 | 母線分離 | ぼせんぶんり | bus separation |

| 定義 | 備考 |
| --- | --- |
| リレーの定格入力に対する負担． | この負担が整定値，他の入力などによって変化する場合は，一般に負担が最大となる条件における値を示す． |
| リレーを動作させるのに必要な公称動作値に対する負担． | この負担が整定値，他の入力などによって変化する場合は，一般に負担が最小となる条件における値を示す． |
| 保護リレーシステム・保護リレー装置・保護リレーなどが保護すべき電力系統 又は電力設備などの範囲． |  |
| 保護範囲内の電力系統事故． |  |
| 保護範囲外の電力系統事故． |  |
| リレー設置点における整定インピーダンスに対する電源インピーダンスの比． |  |
| 電力系統に接続された同期発電機の同期運転が保たれなくなった現象． | 脱調には同期運転に比べ進み位相となる加速脱調と遅れ位相となる減速脱調がある． |
| 電力系統の一部が分離した系統状態 | 系統規模が比較的大きい場合には分離系統，小さい場合には単独系統と区別する場合もある． |
| 電力系統の異常に際して，一部の負荷を緊急遮断する行為． |  |
| 電力系統の異常に際して，一部の電源を急速抑制 又は緊急遮断する行為． |  |
| 電力系統事故の継続 若しくは保護リレー装置動作後の系統安定度喪失などのときに，系統を分離する行為． |  |
| 電力系統事故の継続時に，影響が拡大するのを防止するため，常時併用している複数の母線を分離する行為． |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| 1.22 | ○○優先 | ○○ゆうせん | ○○preference |
| 1.23 | 事故点標定装置（故障点標定装置） | じこてんひょうていそうち（こしょうてんひょうていそうち） | fault locator |
| 　2.00 応動 |
| 2.01 | 動作○ | どうさ | operate【IEV 447-02-04】 |
| 2.01.1 | 正動作 | せいどうさ | correct operation of protection【IEV 448-12-01】 |
| 2.01.2 | 正不動作 | せいふどうさ | correct non-operation of protection |
| 2.01.3 | 誤動作 | ごどうさ | unwanted operation of protection【IEV 448-12-03】 |
| 2.01.4 | 誤不動作 | ごふどうさ | failure to operate of protection【IEV 448-12-04】 |
| 2.02 | 復帰○ | ふっき | reset【IEV 447-02-05】 |
| 2.02.1 | 自己復帰○ | じこふっき | self-reset |
| 2.02.2 | 手動復帰○ | しゅどうふっき | manual reset |
| 2.02.3 | 電気復帰 | でんきふっき | electrical reset |

|  |  |
| --- | --- |
| 定義 | 備考 |
| ○○リレーが動作した場合に他のリレーの応動のいかんにかかわらず，○○リレーの動作を優先させる行為． | 短絡優先・地絡優先・進み相優先などがある． |
| 電力系統 又は電力設備などに発生した地絡・短絡などの事故の発生位置を検出することを目的とする装置． |  |
| 　2.00 応動 |
| リレー 若しくは保護リレー装置などが所定の責務を遂行する事象． |  |
| リレー 若しくは保護リレー装置などが動作すべき場合に動作する事象． |  |
| リレー 若しくは保護リレー装置などが動作すべきでない場合に動作しない事象． |  |
| リレー 若しくは保護リレー装置などが動作すべきでない場合に動作する事象． |  |
| リレー 若しくは保護リレー装置などが動作すべき場合に動作しない事象． |  |
| リレーが原状態における機能に戻る事象． | 原状態とはリレーが定常状態において占める状態をいう．たとえば過電流 又は過電圧リレーでは入力が零において占める状態をいい，不足電流 又は不足電圧リレーでは定格入力において占める状態をいう． |
| 入力が復帰する値となったとき，自動的に復帰する事象． |  |
| 手動で復帰させる事象． | 手動復帰には，内部の復帰機構が直接機械的に操作されるものと，電気回路を介して操作されるものとがある．両者の区別を明示したい場合にはそれぞれ手動機械復帰・手動電気復帰という． |
| 復帰を目的とする外部からの電気入力の変化によって復帰させる事象． |  |

| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| --- | --- | --- | --- |
| 2.03 | 始動○ | しどう | start【IEV 447-02-08】 |
| 2.04 | 保持○ | ほじ | non-reset,holding,latching |
| 2.05 | 釈放○ | しゃくほう | disengage【IEV 447-02-17】 |
| 2.06 | ピックアップ | ぴっくあっぷ | pick up |
| 2.07 | ドロップアウト | どろっぷあうと | drop out |
| 2.08 | フローチング（浮動○） | ふろーちんぐ（ふどう） | floating |
| 2.09 | クリーピング | くりーぴんぐ | creeping |
| 2.10 | 慣性動作 | かんせいどうさ | overtravel operation |

| 定義 | 備考 |
| --- | --- |
| リレーを動作させる方向に入力が変化した場合，原状態から変化し始め，原状態における機能に変化を生じる事象． | 原状態とはリレーが定常状態において占める状態をいう．たとえば過電流 又は過電圧リレーでは入力が零において占める状態をいい，不足電流 又は不足電圧リレーでは定格入力において占める状態をいう． |
| リレーが動作した後，入力が不動作状態に変化しても動作時の機能を維持する事象． |  |
| リレーが動作状態から復帰の方向に変化し始め，動作時の機能に変化を生じる事象． |  |
| 電気機械形リレーの可動部が入力零の位置から他の最終位置まで移動する事象． | ピックアップ，ドロップアウトはともにリレーの応動を機構の面（具体的には，付勢の有無）から表現した用語であり，動作，復帰などの用語は，リレーの応動を機能の面から表現した用語である．たとえば，過電流リレーに対してはピックアップが動作であり，不足電圧リレーにあってはドロップアウトが動作である．前者の復帰状態はドロップアウト状態であり，後者ではピックアップ状態である． |
| 電気機械形リレーの可動部がピックアップ後の位置から入力零の位置まで移動する事象． |
| 電気機械形リレーの可動部が動作 若しくは復帰過程の途中において停滞し，リレーの機能を不安定にさせる現象． |  |
| 二つの入力による動作量 又は抑制量を生じるリレーにおいて，そのいずれか一方のみの入力によって動作量 又は抑制量を生じる現象． | 事例としては，(1)V･Iで駆動されるはずのリレーがV 又はI単独で駆動される現象，(2)V･I－V2で駆動されるはずのリレーがI単独で駆動される現象，(3)I2 －V･Iで駆動されるはずのリレーがV単独で駆動される現象などがある． |
| 動作過程において入力が不動作となるべき値に急変しても，可動部の慣性 又は回路の応動遅れのためにリレーが動作状態に達してしまい一時的に動作を継続する現象． |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| 13.61 | 多接触リレー《多接触継電器○》 | たせっしょくりれー《たせっしょくけいでんき》 | multi-contact auxiliary relay |
| 13.62 | 断続リレー《断続継電器○》 | だんぞくりれー《だんぞくけいでんき》 | intermittent relay |
| 13.63 | フリッカリレー《フリッカ継電器》 | ふりっかりれー《ふりっかけいでんき》 | flicker relay |
| 13.64 | V/Fリレー《V/F継電器》 | ぶいぱーえふりれー《ぶいぱーえふけいでんき》 | volt per hertz relay【IEV 447-01-47】 |
| 13.65 | 単独運転検出リレー | たんどくうんてんけんしゅつりれー | islanding detection relay |
| 　14.00 ディジタルリレー関連 |
| 14.01 | ディジタルリレーユニット | でぃじたるりれーゆにっと | digital relay unit |
| 14.02 | A/D変換部 | えーでぃーへんかんぶ | analog-to-digital converter |
| 14.03 | 入力変換器 | にゅうりょくへんかんき | input transducer |
| 14.04 | 〔前置〕アナログフィルタ | 〔ぜんち〕あなろぐふぃるた | anti-aliasing filter |
| 14.05 | A/D変換器○ | えーでぃーへんかんき | analog-to-digital converter |
| 14.06 | ディジタルフィルタ | でぃじたるふぃるた | digital filter |

|  |  |
| --- | --- |
| 定義 | 備考 |
| 多数の接点を有する補助リレー． |  |
| 予定の周期で接点を反復開閉するリレー． |  |
| 断続リレーの一種であるが，特にランプを明滅するなど，監視員に注意を喚起させる用途に使用されることを目的とするリレー． |  |
| 電圧の大きさと周波数との比で表される特性量で動作するリレー． |  |
| 電力系統の一部又は，分散電源が単独運転状態（電源系統から切り離されても運転を維持している）になったことを検出するリレー． |  |
| 　14.00 ディジタルリレー関連 |
| 単一 又は，複数のディジタルリレー要素から成るハードウェアの1単位． | 入力変換器を含む場合もある．例：図A.16参照 |
| 電力系統の電圧・電流などの電気的な量（アナログ入力）をディジタル量に変換する部位． | 例：図A.16参照 |
| 補助変圧器（補助VT），補助変流器（補助CT）などを内蔵し,系統に接続されるVT回路,CT回路と電気的絶縁を図るとともに,電圧,電流を後続の回路に適したレベルに変換する要素． |  |
| 主にサンプリング時の折り返し誤差の影響を抑制するため，A/D変換器の前段に設置する電子部品によるフィルタ． |  |
| アナログ量のディジタル変換を行い，ディジタル変換された値を出力する要素． |  |
| 直流分，高調波，又は特定周波数成分の抽出・除去を目的にプログラムで実現するフィルタ． |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 読み方 | 英語 |
| 14.07 | A/D変換部有効精度 | えーでぃーへんかんぶゆうこうせいど | analog-to-digital converter effective accuracy |
| 14.08 | LSBの重み | えるえすびーのおもみ | LSB value |
| 14.09 | サンプリング周波数 | さんぷりんぐしゅうはすう | sampling rate |
| 14.10 | 高速サンプリング | こうそくさんぷりんぐ | high-speed sampling |
| 14.11 | フルスケール | ふるすけーる | full scale |
| 14.12 | クロストーク | くろすとーく | crosstalk |
| 14.13 | 〔リレー〕要素 | 〔りれー〕ようそ | function 〔element〕 |

|  |  |
| --- | --- |
| 定義 | 備考 |
| A/D変換部の総ての誤差を考慮して，最終的に期待できるA/D変換~~器~~部の性能． | A/D変換部の誤差としてアナログ比例分誤差，アナログ固定分誤差，量子化誤差等があり，これらの影響によって，A/D変換器の分解能より低下する場合がある． |
| A/D変換器の分解能から計算して得られる，最小有効ビット（LSB:least significant bit）当たりのアナログ入力値． |  |
| アナログ波形を標本化するときの1秒間の頻度． |  |
| アナログフィルタの簡素化,量子化誤差の低減,時間分解能の向上，又は高度なディジタル演算のために，アナログ入力信号をディジタル演算形リレーの演算周期よりも十分に短い時間間隔で行うサンプリング． |  |
| A/D変換器から出力できる最大値に相当するアナログ入力値． | 例えば系統条件から決まる最大電流・最大電圧からA/D変換後のLSBの重みを求め,これを丸めた数値にA/D変換器の分解能を乗じて得られる数値． |
| アナログ信号間，ディジタル信号間 及びアナログ信号とデジタル信号間の移行ノイズ． |  |
| リレーの動作特性を個別の機能要素で構成している場合のそれぞれの機能要素． | 距離リレーの構成要素であるリアクタンス特性を実現する機能要素を「リアクタンス要素」というように示す場合以外に，一つの「ユニット」内に複数のリレーが収納されている場合のそれぞれのリレーを指す場合もある． |

1. （参考）
説明図

本文箇条2の備考欄に記載されている図を下記に示す。

| 図番 | 用語番号 | 用語 | 図 |
| --- | --- | --- | --- |
| A.1 | 3.04 | 動作値 |  |
| 3.05 | 復帰値 |
| 3.07 | 釈放値 |
| 3.09 | 動作時間 |
| 3.10 | 復帰時間 |
| 3.12 | 釈放時間 |
| A.2 | 4.03 | R-X図 |  |
| A.3 | 4.24 | 特性角 |  |
| A.15 | 13.57 | シールインリレー |  |
| A.16 | 14.01 | ディジタルリレーユニット |  |
| 14.02 | A/D変換部 |
|  |

1. （参考）
日本語索引（五十音順）

注）本索引では，語頭の「継電」「継電器」以外は，「リレー」に置き換え表記している。

エクセル表をソートしたものを枠なしで張り付ける

ラテン文字略号が多い，或いは特有の読み方をするなどで，検索しにくい場合には「あ」の前，又は「ん」の後にまとめて再掲する　このコメントは提出時削除

|  |  |
| --- | --- |
| あ |  |
| R－X図 | 4.03 |
| I 接点 | 8.08 |
|  |  |
| い |  |
| 位相検出形 | 6.03.2 |
| 位相特性 | 4.14 |
| 位相比較〔保護〕リレー方式 | 11.07 |
|  |  |
| う |  |
| 埋込形 | 5.12 |
|  |  |
| え |  |
| a 接点 | 8.05 |
| A/D変換器 | 14.05 |
|  |  |
| お |  |
| オーバリーチ | 4.05.1 |
| オームリレー | 13.13.1 |
|  |  |
| か |  |
| 界磁地絡リレー | 13.37 |
| 界磁喪失保護 | 10.21 |
|  |  |
| き |  |
| キープリレー | 13.56 |
| 記憶作用 | 2.14 |
|  |  |
| く |  |
| くま取りコイル | 5.07 |
| クリーピング | 2.09 |
| クロストーク | 14.12 |
|  |  |
| け |  |
| 継電器 | 1.05 |
| 継電システム | 1.03 |
|  |  |
| こ |  |
| 高インピーダンス形差動〔保護〕リレー方式 | 11.04.1 |
| 高インピーダンス〔形〕差動リレー | 13.11.2 |
|  |  |
| さ |  |
| 差込形 | 5.11 |
| 最終遮断 | 12.10 |
|  |  |
| し |  |
| c 接点 | 8.07 |
| シールインリレー | 13.57 |
| 時延リレー | 13.53 |
|  |  |
| せ |  |
| 制御電源 | 7.11 |
| 制御電源電圧特性 | 4.20 |
|  |  |
| そ |  |
| 〔相間〕短絡〔事故〕 | 1.06 |
| 層間短絡〔事故〕 | 1.08 |
| 〔相間〕短絡方向リレー | 13.28 |
|  |  |
| た |  |
| ターン間短絡〔事故〕 | 1.08 |
| ターン間短絡保護 | 10.05 |
| ターン間短絡リレー | 13.35 |
| タイムダイヤル | 5.04 |
|  |  |
| ち |  |
| 地絡過電圧リレー | 13.31 |
| 地絡過電流リレー | 13.32 |
|  |  |
| つ |  |
| 通信線搬送〔保護〕リレー方式 | 11.09.2.2 |
| 通電容量 | 8.11.3 |
|  |  |
| て |  |
| 定格〔値〕 | 1.10 |
| 定格値負担 | 1.11.1 |
|  |  |
| と |  |
| 同期検出リレー | 13.40 |
| 同期投入リレー | 13.41 |
|  |  |
| な |  |
| 内部事故 | 1.13 |
|  |  |
| に |  |
| 入力変換器 | 14.03 |
| 入力〔量〕 | 7.12 |
|  |  |
| ね |  |
| 熱動形 | 6.01.5 |
|  |  |
| は |  |
| パイロット〔保護〕リレー方式 | 11.09 |
| 半埋込形 | 5.14 |
| 反限時 | 2.20.2 |
|  |  |
| ひ |  |
| b 接点 | 8.06 |
| 光伝送〔保護〕リレー方式 | 11.09.3 |
| 引出形 | 5.10 |
|  |  |
| ふ |  |
| V/Fリレー | 13.64 |
| 負荷制限 | 1.18 |
|  |  |
| へ |  |
| 平衡〔保護〕リレー方式 | 11.03 |
| 平衡リレー | 13.10 |
|  |  |
| ほ |  |
| 方向過電流〔保護〕リレー方式 | 11.01.2 |
| 方向過電流リレー | 13.09.1 |
|  |  |
| ま |  |
| マイクロ波搬送〔保護〕リレー方式 | 11.09.2.3 |
|  |  |
| む |  |
| 無効電力リレー | 13.07.1 |
| 無接点出力 | 8.02 |
| 無電圧時間 | 12.06 |
|  |  |
| も |  |
| モータリング保護 | 10.19 |
| モーリレー | 13.13.3 |
|  |  |
| ゆ |  |
| ○○優先 | 1.22 |
| 誘導形 | 6.01.2 |
|  |  |
| よ |  |
| 要素 | 14.13 |
| 要素間協調 | 4.25.3 |
| 抑制 | 2.12 |
| 抑制量 | 7.15 |
| り |  |
| リアクタンスリレー | 13.13.1.1 |
| リーチ | 4.05 |
| リモートバックアップ | 10.02.1 |
| リレー | 1.05 |
| リレー後備保護 | 10.02.2 |
| 〔リレー〕要素 | 14.13 |
|  |  |
| る |  |
| ルーチン試験 | 9.07 |
|  |  |
| れ |  |
| 冷却状態 | 9.05 |
| 零相(電流)補償 | 4.27 |
| 零相分路 | 7.08 |
| レベル検出形 | 6.03.1 |
| 連続定格 | 1.10.1 |
|  |  |
| ろ |  |
| ローカルバックアップ | 10.02.3 |
| ロックアウトリレー | 13.54 |

1. （参考）
英語索引（ABC順）

エクセル表をソートしたものを枠なしで張り付ける　このコメントは提出時削除

|  |  |
| --- | --- |
| A |  |
| adaptive relay | 13.03 |
|  |  |
| B |  |
| backup protection | 10.02 |
| bus separation protection | 10.12 |
|  |  |
| C |  |
| carrier-pilot protection | 11.09.2 |
| change-over contact | 8.07 |
|  |  |
| D |  |
| dead time | 12.06 |
| defined maximum current ensuring non-operation for external fault | 3.14 |
| drop out | 2.07 |
| dynamic characteristic | 4.10 |
|  |  |
| E |  |
| earth fault | 1.07 |
| earth fault directinal relay | 13.33 |
|  |  |
| F |  |
| failure to operate of protection | 2.01.4 |
| fault clearance protection equipment | 1.04.1 |
| function 〔element〕 | 14.13 |
|  |  |
| G |  |
| generation rejection | 1.19 |
|  |  |
| H |  |
| harmonic restraint | 2.12.1 |
| high impedance differential protection | 11.04.1 |
|  |  |
| I |  |
| impedance relay | 13.13.2 |
| independent-time | 2.20.3 |
| inverse-time overcurrent protection | 11.01.1 |
| islanding | 1.17 |
| islanding detection relay | 13.65 |
| isolated operation | 1.17 |
|  |  |
| L |  |
| level detection type | 6.03.1 |
| limiting breaking capacity | 8.11.2 |
| local backup protection | 10.02.3 |
| LSB value | 14.08 |
|  |  |
| M |  |
| magnitude of change of ○○relay | 13.19 |
| main contact | 8.03 |
| N |  |
| negative sequence overcurrent relay | 13.21 |
|  |  |
| O |  |
| offset mho relay | 13.13.4 |
| ohm relay | 13.13.1 |
|  |  |
| P |  |
| protection using telecommunication | 11.09 |
| protective relaying scheme | 1.02 |
| protective scheme | 1.02 |
|  |  |
| R |  |
| rate of change of ○○ relay | 13.20 |
| rated burden | 1.11.1 |
|  |  |
| S |  |
| sampling rate | 14.09 |
| seal-in relay | 13.57 |
|  |  |
| T |  |
| temperature characteristic | 4.18 |
|  |  |
| U |  |
| unbalance protection | 11.03 |
|  |  |
| V |  |
| voltage relay | 13.05 |
|  |  |
| Z |  |
| zero sequence current compensation | 4.27 |
| zero sequence shunt circuit | 7.08 |
| zone of protection | 1.12 |

電気学会　電気専門用語集　No.xx：20xx

用語集名称

解説

この解説は，本体及び附属書に規定・記載した事柄，並びにこれらに関連した事柄を説明するもので，規定の一部ではない。

制定・改正の趣旨

この専門用語集No.xxは，電気に関する学術・技術の論文，図書，規格，カタログなどの文書，講演，会議などにおいて，情報，思考，或いは意志の正確で迅速な伝達を図るために，電気工学の専門分野ごとに適当な部門を選び，そこでの専門用語を標準化し，一義的な定義を与えることを目的として作成された用語集のうち，用語集名称対応に関するものである。

以上　定型文　このコメントは提出時削除

電気専門用語集No.xxは，JEC-174-1979のJEC-2500-1987への改訂を期に，電気用語標準特別委員会の下に設けられた電力用保護継電器用語小委員会（主査 安藤文郎）にて1990年3月に初めて制定され，25年近く手を加えられずに現在に至っている。（本解説では，旧用語集と称する。）

旧用語集は，JEC-174-1979 並びにIEV 446，IEV 448及びANSI C37.100に採録されている用語の中から取捨選択し，さらに当時一般的に用いられるようになった用語を追加して作成されたが，ディジタル形継電器，ディジタル保護制御装置及び事故波及防止保護などの採録は限定的であった。

その後，国際規格ではIEV 448の改訂，IEV 446のIEV 444，IEV 445，IEV447への分離制定作業が行われ，IEEE C37.100も改訂されている。また国内では1990年以降，ディジタル保護制御技術の発展にめざましいものがあった。

これら保護リレーシステム技術の発展を用語集に反映するとともに，使用されていない用語，誤用を招くおそれのある用語，技術的に適当でない用語などを整理し，また，英語の欄の近くにあり読みにくいローマ字表記を止め，ひらがな表記とするなど，利便性も考慮して，改正を行った。

改正の経緯

保護リレー装置標準化委員会では，IEV 447の制定活動の完了，JEC-2500改訂作業の完了後，2010年から2011年にかけ，電気専門用語集No.23の改正に関し，内外の最新の用語の調査を概ね完了した。2011年5月より具体的準備活動を行うため，保護リレー装置標準化委員会の下に用語集改訂準備WGを設置し，2013年7月原案作成準備活動を終了した。2013年9月より電気一般部会 電気専門用語標準化委員会 保護リレー装置電気専門用語標準特別委員会を設立し，改正作業が進められ，2014年9月に成案を得て，2014年11月27日に電気規格調査会 規格役員会の承認を経て制定されたものがこの電気専門用語集No.23 保護リレー装置である。

審議中に特に問題となった事項

3.1「継電器」と「リレー」の関係

3.2 電気機械形・静止形／ディジタル形・アナログ形の分類

3.3 事故検出リレーの分類の見直し

3.4 後備保護の相互関係の見直し

3.5 事故波及防止保護関連の体系化

3.6 英語の見直し

用語に付加した英語に関しては，IEVを重視するとの立場を維持しつつ，とくに，IEVの定義のない用語については語彙数の多いIEEE C37.100との対比を行い，また，海外論文等での使用例の確認を行うなど，齟齬の起きないよう注意を払っている。

主な改正点

今回，採録用語の見直し，定義文の見直しなどを行っているが，今回の改正で，最も重要な変更点は，下記の三点である。

」に優先することとした。

新たに章として設けた。

・厳選した。

・11語を追加した。

ひらがな表記とした。

新規採録・削除した用語を，解説表1に示す。

主な改正点を，解説表2に示す。

なお，用語番号のみの変更を，解説表3に示す。

解説表1－新規採録・削除した用語

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 用語 | 改正点 | 備　考 |
| 　新規採録した用語 |
| 1.05.1 | 主〔検出〕リレー《主継電器》（メインリレー） | 一般に用いられている，主検出リレー・事故検出リレーを定義として明確化するため，新規採録 | 用語番号元13.46の事故検出リレーを用語番号1.05.2 に配置し，齟齬の防止を図った |
| 1.07.1 | 微地絡 | 地絡の一種であるが，保護上，違いがあることから新規採録 | 電気専門用語集No.5「給電」4.03.1 |
| 1.09 | 突入電流 | 事故電流と弁別すべき系統現象として，JEC-2515-2005「電力機器保護用比率差動継電器」より新規採録 | 変圧器・電動機・コンデンサなどで発生 |
| 1.13 | 内部事故 | 電力流通設備の事故の内，保護リレーが動作すべきと認識される事故として，IEV 448 を参考に新規収録「外部事故」の対語 | IEVの定義では保護範囲と保護区間は区別されている本用語集ではより広い定義とし「保護範囲」を使用した |
| 1.14 | 外部事故 | 電力流通設備の事故の内，保護リレーが動作すべきでないと認識される事故として，IEV 448 を参考に新規収録「内部事故」の対語 |
| 1.15 | SIR（電源インピーダンス比) | 系統事故の大きさの指標として，JEC-2516-2000「ディジタル形距離継電器」より新規採録 |  |
| 1.16 | 脱調 | 事故波及防止リレーシステムが扱う系統現象のため，新規収録 | 電気専門用語集No.5「給電」1.41英語は，IEV英語に一貫性がないため，IEEE英語と併記とした（電気専門用語No.5「給電」採録英語とは現象の扱いが異なるため一致しない） |
| 1.17 | 単独運転 | 分散電源の増加に伴う，系統操作・系統現象の用語として新規収録 | 電気専門用語集No.5「給電」5.08一義的英語は確立していない |

| 解説表1－新規採録・削除した用語 （続き） |
| --- |
| 番号 | 用語 | 改正点 | 備　考 |
| 1.21 | 母線分離 | 後備保護，事故波及防止保護が扱う系統操作として新規収録 | 電気専門用語集No.5「給電」4.10一義的英語は確立していない |
| 3.03 | 整合 | 整定機構の一種で，ディジタルリレー規格で必要性が強まったため，JEC-2515-2005「電力機器保護用比率差動継電器」，JEC-2517-2008「送電線保護用比率差動継電器」より新規採録 |  |
| 3.13 | 動作保証最大電流 | 過負荷耐量試験は，機械的性能の確認であり，フルスケールなどが存在するディジタルリレーでは，動作有無の確認の必要性が強まったため，JEC-2516-2000「ディジタル形距離継電器」，JEC-2515-2005「電力機器保護用比率差動継電器」，JEC-2517-2008「送電線保護用比率差動継電器」より新規採録 | IEV英語では似たような用語として，operating range があるが，定義が異なり，この日本語用語の一義的英語は確立していない |
| 3.14 | 不動作保証最大電流 | 差動リレーの過負荷耐量試験として行われていたが，フルスケールなどが存在するディジタルリレーでは，過負荷耐量試験とは別に規格化する必要性が強まり，JEC-2517-2008「送電線保護用比率差動継電器」より新規採録 | 3.13 同様，operating range が近い用語であるが，定義が異なり，この日本語用語の一義的英語は確立していない |
| 4.13 | 比率特性 | JEC-2515-2005「電力機器保護用比率差動継電器」より定義を一般化して新規採録 |  |
| 4.25.3 | 要素間協調 | JEC-2516-2000「ディジタル形距離継電器」，JEC-2517-2008「送電線保護用比率差動継電器」より定義を一般化して新規採録 |  |
| 4.26 | 充電電流補償 | JEC-2517-2008「送電線保護用比率差動継電器」より新規採録 |  |
| 4.27 | 零相(電流)補償 | JEC-2516-2000「ディジタル形距離継電器」より新規採録 |  |
| 6.03.1 | レベル検出形 | アナログ形・ディジタル形の分類整理のために追加採録 | 旧用語集の「アナログ形」の定義を新たに本用語に適用した |
| 　削除した用語（備考等に記載を移したもの　番号欄は旧番号） |
| 6.01.2.1 | 誘導円板形 | ディジタルリレーの普及で，減少傾向であるが，電気機械形として，今後も使用されるものであるので，用語番号6.01.2 の備考に移動 |  |
| 6.01.2.2 | 誘導円筒形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.01.2 の備考に移動 |  |
| 6.02.2.1 | 時間測定形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.03.2 の備考に移動 |  |
| 6.02.2.2 | 連断続形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.03.2 の備考に移動 |  |
| 6.02.2.3 | サンプリング形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.03.2 の備考に移動 |  |
| 6.02.2.4 | 同期積分形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.03.2 の備考に移動 |  |
| 6.02.2.5 | 順序回路形 | ディジタルリレーの普及で，今後の使用は減少傾向であり，用語番号6.03.2 の備考に移動 |  |
| 11.09.1.1 | 電流循環式表示線継電方式 | ディジタルリレーの普及で，これらの方式の使用は減少傾向であり，また，設定する回路インピーダンスの違いによる方式差でもあるため，用語番号11.09.1 の備考記載を変更して，本用語を抹消 |  |
| 11.09.1.2 | 電圧反向式表示線継電方式 | ディジタルリレーの普及で，これらの方式の使用は減少傾向であり，また，設定する回路インピーダンスの違いによる方式差でもあるため，用語番号11.09.1 の備考記載を変更して，本用語を抹消 |  |

|  |
| --- |
| 解説表2－主な改正点 |
| 番号 | 用語 | 改正点 | 備　考 |
| 　共通の改正 |
|  | 用語構成語中の「継電」「継電器」は，「リレー」を優先使用するよう変更定義文中の「継電」「継電器」は，「リレー」に変更 | 本改正は下記　個別の改正点の欄には再度の記載はしていない |
|  | 定義文は，「こと止め」を使用しないように変更「により」は「によって」，「に応じて」，「のために」，「による」，「をもって」などに変更 |
|  | 英語欄に記載される英語の参考としたIEV番号は，最新の情報に変更なお，IEV番号の記載は保護制御分野のIEV番号のみとした（他分野で定義されている場合もあるが，その定義との類似性は検討していないため）また，IEEE C37.100 も参考にしているが，IEEE C37.100 に採録がある場合でも参考として【IEEE C37.100】は記載していない |
|  | 旧用語集文中に使用されていた「電気量」は，「electrical quantity」の意で使用されていたが，電荷量の異称との混同を避けるため，「電気的な量」又は「電圧・電流などの電気的な量」に変更 |
|  | 図は，記載を厳選し，不要なものは抹消なお，図は附属書Aにまとめて記載 |
| 　個別の改正 |
| 　1.00　一般 |
| 1.03 | 保護〔リレー〕システム（〔保護〕継電システム） | 英語の 「protective system」 を抹消 | protectiveは，protective relay，protective relaying と続く場合のみとした |
| 1.04 | 保護〔リレー〕装置（〔保護〕継電装置） | 英語の 「protective equipment」 を抹消 |
| 1.04.1 | 事故除去リレー装置 | 定義を変更　「に応動し」→「の異常状態を検出して」 |  |
| 1.04.2 | 事故波及〔防止〕リレーシステム | 用語は，元「事故波及〔防止〕継電装置（〔系統〕安定化継電装置）」定義を変更　「系統の比較的広い範囲の運転を脅かす要因に対処することを」→「電力系統の安定運転を阻害する異常現象が広範囲に波及するのを防止することを」 |  |

| 解説表2－主な改正点（続き） |
| --- |
| 番号 | 用語 | 改正点 | 備　考 |
| 1.05 | リレー《継電器》 | 英語は，元「relay」のみ，今回 IEV 改訂作業時の和訳検討結果に基づき３語を並記 |  |
| 1.05.2 | 事故検出リレー《事故検出継電器》 | 新規用語「1.05.1 主〔検出〕リレー《主継電器》（メインリレー）」の採録によって，用語番号を変更。用語番号は元13.46従来定義に，備考欄の趣旨の定義を追加変更 | ここでは主検出リレーと対で使用される事故検出リレーのことを定義で明確化した |
| 1.06 | 〔相間〕短絡〔事故〕 | 用語番号は元1.07英語short-circuit fault を追加定義を変更　「導電部分相互間の絶縁」→「導電部分の間で絶縁」 |  |
| 1.07 | 地絡〔事故〕 | 用語番号は元1.08定義を変更　「大地間の絶縁」→「大地の間で絶縁」 |  |
| 1.11 | 負担 | 定義を変更　「及ぼす影響の度合い」→「及ぼす影響」 |  |
| 1.11.1 | 定格値負担 | 英語「rated power」を削除 |  |
| 1.19 | 電源制限 | 用語番号は元11.12電源遮断以外に電源抑制の意味を含むことから英語を訂正 |  |
| 1.20 | 系統分離 | 用語番号は元11.13英語「network splitting」を追加 |  |
| 1.22 | ○○優先 | 用語番号は元11.14英語を変更　元は，「○○ preferred relaying」であった。 | 本用語は他の用語「再閉路」「遮断」などの修飾詞となることもあるため，動名詞的な relaying を使用しない用語とした |
| 　2.00　応動 |
| 2.01 | 動作 | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.01.2 | 正不動作 | 英語を変更　元「correct in operation」 |  |
| 2.02 | 復帰 | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.02.2 | 手動復帰 | 英語を変更　元「hand reset」 |  |
| 2.02.3 | 電気復帰 | 英語を変更　元「electrically reset」 |  |
| 2.03 | 始動 | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.04 | 保持 | 英語を変更　元「non-release」「holding」 |  |
| 2.05 | 釈放 | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.06 | ピックアップ | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.07 | ドロップアウト | 英語表記をIEV用語の用法に従い訂正 |  |
| 2.08 | フローチング（浮動） | 定義を変更　「不安定にする」→「不安定にさせる」 |  |
| 2.09 | クリーピング | 備考を箇条書きとした |  |
| 2.10 | 慣性動作 | 定義を変更　「動作する」→「ある時間動作を継続する」 |  |
| 2.13 | 自己保持 | 英語を変更　元「self-holding」 |  |
| 2.14 | 記憶作用 | 英語を変更　元「memory action」備考を追加 |  |
| 2.15 | トリップ（引きはずし）（遮断） | 用語に（遮断）を追加 |  |
| 2.16 | 動作表示 | 英語を変更　元「operation indication」 |  |
| 2.17 | 状態表示 | 英語を変更　元「status indication」 |  |
| 2.18 | 即時 | 定義を変更　元「応動時間に対して特に考慮されない応動」 |  |
| 2.20.1 | 比例限時 | 英語を変更　元「proportional time-lag」定義を変更　「大きいほど」→「大きくなるにつれて」 | 英語の「time-lag」と「time」の混在を整理した |
| 2.20.2 | 反限時 | 英語を変更　元「inverse time-lag」定義を変更　「大きいほど」→「大きくなるにつれて」 |

| 解説表3－用語番号のみの変更 |
| --- |
| 番号 | 用語 | 旧用語番号 | 備　考 |
| 1.08 | ターン間短絡〔事故〕（層間短絡〔事故〕） | 1.09 |  |
| 1.18 | 負荷制限 | 11.11 |  |
| 1.23 | 事故点標定装置（故障点標定装置） | 1.06 |  |
| 3.06 | 始動値 | 3.05 |  |
| 3.07 | 釈放値 | 3.06 |  |
| 3.09 | 動作時間 | 3.08 |  |
| 3.11 | 始動時間 | 3.10 |  |
| 3.12 | 釈放時間 | 3.11 |  |
| 4.22 | 動作〔値〕総合特性 | 4.21 |  |
| 4.23 | 復帰〔値〕総合特性 | 4.22 |  |
| 5.09 | 固定形 | 5.10 |  |
| 5.12 | 埋込形 | 5.13 |  |
| 5.13 | 表面形 | 5.14 |  |
| 5.14 | 半埋込形 | 5.15 |  |
| 6.01.5 | 熱動形 | 6.01.6 |  |
| 6.04.2 | ディジタル計数形 | 6.03.2 |  |
| 7.14 | 動作量 | 7.13 |  |
| 7.15 | 抑制量 | 7.14 |  |
| 10.08 | 過負荷保護 | 10.09 |  |
| 10.15 | 過速度保護 | 10.14 |  |
| 10.16 | 過電力保護 | 10.15 |  |
| 10.19 | モータリング保護 | 10.18 |  |
| 10.20 | 過励磁保護 | 10.19 |  |
| 10.22 | 断線保護 | 10.21 |  |
| 10.23 | 相平衡保護 | 10.22 |  |
| 10.24 | 欠相保護 | 10.23 |  |
| 10.25 | 反相保護 | 10.24 |  |
| 12.06 | 無電圧時間 | 12.07 |  |
| 13.04.3 | 過不足電流リレー《過不足電流継電器》 | 13.03.3 |  |
| 13.05.3 | 過不足電圧リレー《過不足電圧継電器》 | 13.04.3 |  |
| 13.06 | 電流補償付不足電圧リレー《電流補償付不足電圧継電器》 | 13.05 |  |
| 13.08 | 逆電力リレー《逆電力継電器》 | 13.07 |  |
| 13.09 | 方向リレー《方向継電器》 | 13.08 |  |
| 13.11 | 差動リレー《差動継電器》 | 13.10 |  |
| 13.11.1 | 比率差動リレー《比率差動継電器》 | 13.10.1 |  |
| 13.12 | 電圧抑制付過電流リレー《電圧抑制付過電流継電器》 | 13.11 |  |
| 13.63 | フリッカリレー《フリッカ継電器》 | 13.61 |  |

懸案事項

5.1 新規採録用語の提案があり審議の結果追加しないこととした用語

　今回の用語集の改正で，多くの新規採録用語の提案があったが，類似性，汎用性，定義の一義性などの点で採録を見送った用語がある。

（１）IEV／IEEE関連　　IEV／IEEEは，用語集の英語の部分の記載内容の参考とするため調査したが，合わせて，旧用語集にない用語で，新規採録にふさわしい用語も調査した。IEV／IEEEから新規採録候補が選ばれ，慎重審議されたが，その過程で，一般用語であるもの（改めて用語集で定義する必要がないもの），日本で使用される場合の定義が異なるもの，日本ではあまり使用されないものなどの採録は見送った。

（２）JEC関連　　本用語集の目的の一つに，JECで定義する用語のうち，共通的なものを抽出し，共通認識化することがある。その意味で，特定の規格の中でしか使われない用語，規格内で再定義するなどの処置が必要である用語以外は，新規に採録した。採用しなかった。

その他の解説事項

6.1 「リレー」「継電器」の語源について

今回，用語「継電器」に優先して「リレー」を使用するよう改めたが，「継電器」の語源について，調査結果を記す。

なった。

推定される。

なっている。

標準特別委員会名及び名簿

委員会名：電気専門用語標準化委員会

　　　　用語集名称電気専門用語標準特別委員会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 委員長 |  | （所属略称） |
| 委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 幹事 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 幹事補 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 途中退任委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 途中退任幹事補 |  | （） |
|  |  |  |

委員会名：電気専門用語標準化委員会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 委員長 |  | （） |
| 委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 幹事 |  | （） |
| 事務局 |  | （） |
| 途中退任委員長 |  | （） |
| 途中退任委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 途中退任事務局 |  | （） |
|  |  |  |

部会名：電気一般部会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部会長 |  | （） |
| 委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 幹事 |  | （） |
| 事務局 |  | （） |
| 途中退任委員 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 途中退任事務局 |  | （） |
|  |  |  |

電気規格調査会名簿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会　長 |  | （） |
| 副会長 |  | （） |
| 副会長 |  | （） |
| 理　事 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |
| 同 |  | （） |

ELECTROTECHNICAL VOCABULARY

OF

THE JAPANESE ELECTROTECHNICAL COMMITTEE

No. xx

Protection Equipment

「ロゴ」The Institute of Electical Engineers of Japan